

●現地で活動するにあたり、気を付けていることは？
東日本大震災で最大の被災地となった石巻市で仕事をする上で、相手の立場や心情を考えながら物事を進めていくように日々心掛けています。

●石巻市での活動内容は？
災害廃棄物対策課へ配属となり、主に仮置場管理業務を行っています。デスクワークだけでなく、がれき処理を行っている仮置場などの現場にも出掛けます。
がれき処理については、東京都をはじめ北九州市などへの広域処理も順調に進み、一時期は高く積み上げられていたがれきの山も、かなり低くなってきています。

平成24年度
●派遣業務概要●
【派遣場所】宮城県石巻市生活環境部災害廃棄物対策課
【石巻市派遣人員】派遣団体数53団体112人、配置部署26課（平成25年1月1日現在）

がれきとは言っても、全てはごみではなく、今までは財産であったものも含まれています。津波の被害により一瞬にして何もかも失ってしまった人たちの宝物（手紙や写真など）が埋まっているため、扱いには気を付けています。
（4ページへつづく）



仮置場にあった野球ボールと自転車



がれき仮置場

宮城県石巻市は こんな所です



↑JR石巻駅前。奥のピンク色の建物が市庁舎。

市庁舎前の仮面ライダーV3の像。震災直後はブーツが隠れるほどに浸水。



宮城県の東部に位置する県内第2の都市。漫画家石ノ森章太郎氏ゆかりの地としても有名で、JR石巻駅前などには、キャラクターの像が設置されています。平成17年4月に、旧石巻市と近隣6町が合併し、現在の石巻市になりました。

市庁舎は、閉店した百貨店を無償で譲り受けたもので、建物を再利用して業務を行っています。

【石巻市の震災被害状況】（平成24年12月末日現在）

人的被害数	▼市内での死者数 3,145人 ▼行方不明者 447人
人口推移	162,822人（平成23年2月末日現在） ↓ △11,467人 151,355人（平成24年12月末日現在）
避難状況	▼最大避難者数 50,758人（平成23年3月17日時点） ▼最大避難所数 259カ所 ※避難所は平成23年10月11日、待機所は同年12月11日で全て閉鎖
住家被害数	▼全壊 22,357世帯 ▼半壊 11,021世帯 ▼一部損壊 20,364世帯 合計 53,742世帯 ※被災住家数計53,742棟÷被災前住家数74,000棟=72.6%
浸水範囲	73平方キロメートル ※市内の13.2%（平野部の約30%）。中心市街地は全域浸水。
学校関連施設被害数	▼小学校 43校中10校 ▼中学校 21校中4校 ※被災校は仮設および間借り校舎を使用中
仮設住宅など	▼仮設住宅 7,153戸（うち6,946戸入居）、入居者16,305人 ▼民間賃貸住宅 5,327世帯、入居者14,036人



石巻市役所で活動中の海老名市職員・森川浩次

海老名市職員が 石巻市で活動しています

東北地方に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から間もなく2年。震災後、被災地には全国の自治体から多くの職員が復興支援のために派遣されており、海老名市からも宮城県石巻市に職員を派遣しています。市では、来年度も継続して石巻市への職員派遣を予定していますが、今号では、平成24年度の派遣職員のインタビューを交えながら、石巻市の“今”をお知らせします。

被災地の現状を知り、災害への備えや、自分にできる事を再度考える機会にしてください。

被災地
支援報告

宮城県石巻市

海老名市